平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	多目的グラウンド整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	2	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	122生涯スポーツ・レクリエーションの振興	担当課室長	犬塚俊雄			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	平成26年度新規事業	③平成27年度に取組む改革・改善内容	27年度中に設計と整備工事を行うよう事業の進捗管理を適正に行う。
②①に基づく取組み結果			

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	軽スポーツ等の利用者	意図（対象をどうするのか）	活動できる場を提供する
②事務事業の概要	中沢地区に多目的グラウンドを設置するための、土地の賃貸借や実施設計を行う。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	近年、グラウンドゴルフ等の軽スポーツが盛んなことから、多目的グラウンド利用の需要は見込めると考えられる。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果：事業用地は、地権者より借用を開始したが、実施設計については事故繰越により、27年度に作業が伸びることとなった。

②成果を表す指標

	指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
i	実施設計の完成	0	0	0		業務取得（完成を1とする）
ii	整備工事の完了	0	0	0		業務取得（完成を1とする）
iii						

③事務事業のコスト

	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳 金額（千円）	内容	平成27年度予算
事業費（千円）	0	1,632			30,921
国支出金（千円）			862	消耗品、測量、除草委託	
県支出金（千円）			770	賃借料	
市債その他（千円）					
一般財源（千円）		1,632			30,921

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）：26年に実施設計、27年に整備工事が出来るよう、業務の進捗を適正に行っていく。

②評価

i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	5改善
ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		

③上記評価の理由：事故繰越により実施設計が27年度に持ち越しとなったため。

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	多目的グラウンドを整備するため実施設計を行う。
②計画に対する事業実績	事故繰越となり、27年度に持ち越してしまった。
③達成状況	未完了
④未完了・非着手の理由	

平成26年度事業費の状況（単位；千円）

計画事業費	予算額			決算額		
7,571	7,571	当初	7,571	1,632	H25からの繰越	0
		H25⇒26繰越	0		現年分	1,632
		補正	0			
		流用・充当	0			
平成27年度への繰越額				5,324		

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	市民体育館施設改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	2	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	122生涯スポーツ・レクリエーションの振興	担当課室長	犬塚俊雄			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	トレーニングルームの設置により、利用者の増加が見込めることから、利用者への直接サービスにつながる設備改修を行う。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	平成26年度で事業完了のため、該当なし。
②①に基づく取組み結果	シャワールームやトイレの改修を行ったことから、市民体育館利用者へのサービス向上につながった。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民体育館利用者	意図（対象をどうするのか）	利用者に快適な施設環境を提供する。
②事務事業の概要	市民体育館アリーナ階にある男女のシャワー室の改修と、和便器又は洋便器の一部を洋温便座に改修する。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	市民体育館は、トレーニングルームの設置による利用者の増加や、幅広い世代の利用があるため、トイレやシャワールームの改修は市民サービスの向上に大いに寄与する。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	平成27年1月までの新春マラソン大会等の行事までには改修工事を完了したため。

②成果を表す指標

	指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
i	更新機器数	0	54	0	個	業務取得
ii	改修箇所数	0	0	33	箇所	業務取得
iii						

③事務事業のコスト

	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳 金額（千円）	内容	平成27年度予算
事業費（千円）	6,510	22,399			0
国支出金（千円）			2,225	実施設計	
県支出金（千円）			20,174	改修工事	
市債その他（千円）		17,300			
一般財源（千円）	6,510	5,099			

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	平成27年1月に成人式や新春マラソン大会があるため、関係課と調整を図りそれ以前に改修工事を完了する。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	平成27年1月までの新春マラソン大会等の行事までには改修工事を完了したため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	市民体育館内のトイレやシャワールームの改修
②計画に対する事業実績	市民体育館内のトイレやシャワールームの改修を完了し
③達成状況	完了
④未完了・非着手の理由	

平成26年度事業費の状況（単位；千円）

計画事業費	予算額			決算額		
23,162	23,162	当初	23,162	22,399	H25からの繰越	0
		H25⇒26繰越			現年分	22,399
		補正				
		流用・充当				
平成27年度への繰越額						0

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	（仮称）弓道・アーチェリー場建設事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	2	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	122生涯スポーツ・レクリエーションの振興	担当課室長	犬塚俊雄			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	関係各課との調整を図り、４月末に事業完了を行う。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	平成26年度で事業完了のため、該当なし。
②①に基づく取組み結果	実施設計を行い、施設建設工事を実施。３月末までに本体改修工事は完了したが、降雪等により外構部分の工事が26年度に繰越となった。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	弓道及びアーチェリーの利用者	意図（対象をどうするのか）	利用者に、競技の場を提供する。
②事務事業の概要	弓道場及びアーチェリー場の整備を行う。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	事業を前倒しして建設まで行うこととなったが、生涯スポーツの観点からも、今後大きな利用を見込める施設であると考えられる。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	外構工事が完了し、平成２６年６月１日より施設が運営開始となった。

②成果を表す指標

	指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
i	施設（弓道及びアーチェリー場）建設数	0	2	0	棟	業務取得
ii						
iii						

③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）	96,045	7,368	金額（千円）	内容	0
国支出金（千円）	80,768		7,368	外構工事	
県支出金（千円）					
市債その他（千円）					
一般財源（千円）	15,277	7,368			0

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	外構工事の完成、運営開始までの準備作業を円滑に行う。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	施設の完成及び円滑な運営開始を行ったため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画	弓道場及びアーチェリー場の整備を行う。	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	平成26年度4月末に外構工事を完了し、6月1日より運営を開始した。	0	7,368	当初	7,368	H25からの繰越	7,368
③達成状況	完了			H25⇒26繰越	7,368	現年分	0
④未完了・非着手の理由				補正			
				流用・充当			
		平成27年度への繰越額			0		

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	市民体育館進入路改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	2	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	122生涯スポーツ・レクリエーションの振興	担当課室長	犬塚俊雄			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	平成26年度新規事業	③平成27年度に取組む改革・改善内容	平成26年度で事業完了のため、該当なし。
②①に基づく取組み結果			

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民体育館利用者	意図（対象をどうするのか）	安全な通行を提供できるようにする
②事務事業の概要	劣化した市民体育館進入路の舗装等の改修を行う			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	劣化した舗装等の改修により、通行者の安全が図れる。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	予定どおり改修が完了し、安全な通行の確保が確保された。

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	市民体育館敷地内通路改修箇所	0	0	1	箇所	業務取得
	ii						
	iii						

③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）	0	7,914	金額（千円）	内容	0
国支出金（千円）			7,914	改修工事	
県支出金（千円）					
市債その他（千円）					
一般財源（千円）	0	7,914			

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	平成27年1月に成人式や新春マラソン大会があるため、関係課と調整を図りそれ以前に改修工事を完了する。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	平成27年1月までの新春マラソン大会等の行事までには改修工事を完了したため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画	劣化した市民体育館進入路の改修。	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	改修を完了した	10,260	10,260	当初	10,260	7,914	H25からの繰越	0
③達成状況	完了			H25⇒26繰越			現年分	7,914
④未完了・非着手の理由				補正				
				流用・充当				
		平成27年度への繰越額			0			